

あなたの支援が必要です
賛助会員募集・寄付のお願い

私たちは、特定非営利活動法人として、私たちの活動に賛同いただいた多くの皆さまからの助成金・寄付金により活動しています。
継続的な活動のために、皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

支援方法

賛助会員募集

活動を資金面で応援していただく会員です。定期的に活動報告をお届けします。

資金面の寄付

随時寄付を受け付けています。同封の払込取扱票をご利用ください。
グッズ寄付の受付も行っています。

書損じ葉書・不要切手の寄付

書損じ葉書や不要切手を事務局までお送りください。発送業務に使用させていただきます。

ボランティアとして活動

当法人主催の養成講座にお申し込みください。修了後、当法人のボランティアスタッフとして参加していただけます。

詳細はホームページをご覧ください。ご支援をよろしくお願いいたします。



NPO法人こどもグリーフサポートふくおか

〒815-0032
福岡県福岡市南区塩原4丁目3-6 101号室

事務局

E-mail info@grie-fuku.com
URL <http://www.grie-fuku.com>



スタッフ

【事務局・運営】臨床心理士、社会福祉士、保育士などで構成
【ボランティアスタッフ】当法人主催の10時間の養成講座修了者(18歳以上)

大切な人と死別した 子どもたちとともに

子どもたちの未来の架け橋に



NPO法人 こどもグリーフサポートふくおか
Children's Grief Support Fukuoka

大切な人と死別した 子どもたちに大事なこと



- 大切な人を亡くした子どもどうしの出会い
- 遊びや会話をとおして自分のグリーフにふれる
- グリーフを表現し、シェアできる安心・安全な場所

子どもたちは、大切な人の死を受け止め
グリーフとともに生きていく力を持っています。

私たちはグリーフサポートの場として
「たいせつな人をなくした子どものつどい」
を開催しています。

「たいせつな人をなくした子どものつどい」の1日

うけつけ

はじまりのわ

①名前、②学年、③誰が死んじゃったか、④好きな〇〇など、自分自身のことを話します。でも話したくないときや話したくないことはパスできます。

あそびのじかん

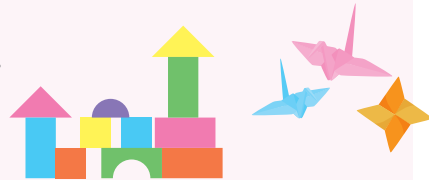
それぞれが思い思いの時間を過ごします。

おやつのじかん

おわりのわ

今日つどいで何をして過ごしたか、どうだったか等、参加しての感想を話します。

おしまい



1日のプログラムはこのようなになっています。プログラム中は、安心して安全に過ごせるよういくつかの“ルール”も設定しています。

同じ時間帯に、別室で保護者向けのプログラムも開催しています。
つどいへのご参加・お問い合わせは事務局にご連絡ください。

グリーフとは？

大切な人を亡くしたときにおこる、こころやからだ、日常生活の中での反応や変化を“グリーフ”といいます。

グリーフは病気ではなく、大切な人を亡くすと大人にも子どもにも自然に生じるものです。そして、子どもたちはこんなことを感じています。



子どものグリーフとは？

大人とは異なる次のような特徴があります。

- グリーフを遊びや行動・体を通して表現することが多い
- 年齢によってグリーフ反応が異なってくる
- 年齢によって死の概念がちがうことがある
- 誤った理解をしていることがある

例：「親が死んだのは自分が悪い子だったから」と思い込む

その他の活動



講演会の開催

グリーフに関する講演会や学習会(グリふく講座)を不定期で開催しています。
また、講師派遣も行っています。



ボランティア養成講座

つどいを支えるボランティアスタッフの養成。ボランティアスタッフは当法人主催の講座を修了した上で活動しています。(年に1～2回開催)